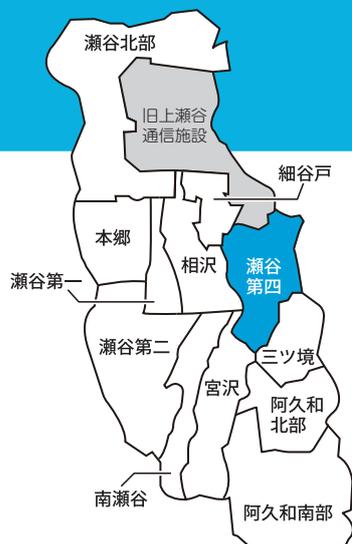


瀬谷第四地区



※瀬谷第四地区には瀬谷二丁目の一部も含まれます。

1 地区の概況

- ◆相鉄線三ツ境駅が徒歩圏内にあり、幹線道路である横浜厚木線や、丸子中山茅ヶ崎線、瀬谷柏尾線が交差するなど利便性が高い地域。
- ◆地域内に区役所、福祉保健活動拠点、地域ケアプラザなどの公共施設や特別支援学校、小中学校もあり、福祉保健活動団体の活動が活発に行われている。

2 第1・2・3期で取り組んだ主な活動や事業

◆連携(つながり)の強化

- ・自治会・民児協・地区社協の連携
- ・町内会単位の見守り・防災活動
- ・気づきのキャッチ・見守りのリレー事業
- ・見守りサポーター活動
- ・「元気塾」介護予防運動
- ・子育て・障害者支援
- ・あいさつ運動・声かけ運動(見守りサポーター)

◆高齢者の生きがいづくり

- ・地域活動拠点増設
- ・会食会設立・配食サービス
- ・地域活動の協力体制
(男のボランティアとなり組)(女性のボランティア)

◆地域活動の活性化

- ・自治会単位での活発な防災訓練
- ・自治会単位で活動する
- ・ボランティア活動員の発掘と育成

◆情報・交流の機会

- ・福祉保健新聞
- ・福祉保健まつり
- ・第四地区のきずな

◆人材発掘・人材育成

- ・担い手の増員
- ・地域参加率向上



連携(つながり)の強化
レクリエーション大会

3 第4期計画に向けての課題

第4期地域福祉保健計画は、一人暮らし高齢者、認知症、障害者、子どもの貧困等、地域活動としてどんな支えができるのか、また地域活動に参加していない住民のつながりをどのように進めるのか、地域活動を継続していくためには、次の世代にどのように引継ぐ体制で進めるのか等を重点に考えた地域活動を策定して行く。

4 推進母体

瀬谷第四地区福祉保健計画実行委員会

瀬谷第四地区社会福祉協議会、連合自治会、民生委員児童委員協議会等



瀬谷第四地区マスコットキャラクター
よんたくん

第4期 瀬谷第四地区地域福祉保健計画 【令和3年度～令和7年度】

誰もが安心して暮らせるまちづくり

| テーマ | 目標値(あるべき姿) | 活動目標値 (5年間の活動目標) | 具体的な活動 |
|-------------------------|--|---|---|
| よんたくん広場 | 地域の人みんなで協力し、それぞれの価値を認めながら、子どもの健やかな成長を見守る | (1) 子育て支援イベントが計画されている | 子どもの可能性を引き出す体験を提供： よんたくん広場 |
| | | (2) 地域全体で子どもを見守る活動ができている | 民生委員・児童委員、青少年指導員、スポーツ推進員、保健活動推進員、消費生活推進員、女性地域安全委員、PTAなどとの連携による活動 ・子どもが安心して過ごせる地域づくり（見守り運動、あいさつ運動、声かけ運動、登下校時の見守り）： 連合自治会、二つ橋サポーター（ふたさぼ） ・子どもの居場所づくり： よんたくん広場 |
| | | (3) 子どもの健全な育成が進められている | 学校、区役所、区社協、ケアプラザなど関係機関との連携 ・ひとり親家庭の支援、子ども食堂、放課後の支援： よんたくん広場 |
| | | (4) 多様な世代の大人が子どもに関わり、お互いが感謝の気持ちをもって、一緒に活動する場ができている | 学校との連携 幅広い世代が協力し合える地域活動の検討 ・三世代交流イベント： 子育て広場「ゆうスリー」 ・学校地域協働： 二つ橋サポーター（ふたさぼ） |
| 連携（つながり）の強化 よんたくん倶楽部 | 次世代の方が中心に新しい地域活動ができている | (1) 地区社協事業の中で、次世代の方が中心になって地域活動を進めている。 | ・地域で暮らす誰もがそれぞれの立場で一人一役活躍できる場ができている |
| | | (2) 「誰もが参加できる地域づくり」「みんなが自由に作れる地域活動」楽しく自由に参加できる環境になっている | ・地域住民参加で楽しく暮らせるまち作り研修会。人と人のつながるまち作り研修会が実施されている |
| | | (3) 孤立する人がなく「お互い様」で仲良く、元気に、楽しく生活できるまちになっている | ・第四地区福祉保健計画活動のイベントに積極的に地域住民が参加している |
| | | (4) 地域社会の中で人と人のつながりができ、理解し合って、それぞれ自分らしく、生き生きと暮らせるまちになっている | ・第二の人生参加窓口/地域デビューへの誘い/次世代をつなぐカリキュラムができている |
| | | (5) 地域社会はみんなのもの、みんなで作る、支え合いのできる第四地区の暮らしができている | ・健診のPR/ラジオ体操/フリーで集まれる場/世代間交流イベント/隣近所でお茶飲み会が進んでいる |
| SOSよんたくんネットワーク | 高齢者、障害者、認知症、核家族化を支えられる体制ができている | (1) 高齢者が元気に地域活動に参加し楽しい人生を送っている | ・ボランティア活動団体のネットワークが確立されている |
| | | (2) 支える人支えられる人が「お互いさま」で暮らせるまちになっている | ・認知症徘徊支援体制が確立されている ・介護経験のある人が集まりケアラーを支えるまちになっている |
| | | (3) 見守りサポーターは社会的弱者の理解を深める研修会を進めながら、声掛けのできるまちになっている | ・当事者家族との交流が進んでいる |
| | | (4) オレンジのひも付き名札をつけて目に見える地域活動を進めている | ・見守りサポーターが活発に活動し安心して暮らせるまちになっている |